

RI第2510地区

留萌ロータリークラブ

会報

2012 ▶ 2013
WEEKLY REPORT



奉仕を通じて
平和を

田中作次

2012-13年度
国際ロータリー会長

留萌
ロータリークラブ
会長目標

ロータリーを楽しく・
学び・奉仕しよう

会長／山本讓二 幹事／森 幹雄

プログラム

- 本日
 - 第1グループIM (都市連合会)
 - 会員誕生日
 - 5月30日 山本 讓二
 - 6月1日 西谷 恭治
- 次週予定
 - －休 会－
 - 配偶者誕生日
 - 6月3日 佐々木留美子

No. 2559

第43回 5月26日

出席報告

前例会

会員総数	42名
出免会員	9名
出免出席	7名
基準会員出席	19名
出席率	66.66%

前々例会

第40回 5月8日

欠席会員	9名
内メイクアップ	4名
修正出席率	89.74%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F

幹事報告

・赤平ロータリークラブ、芦別ロータリークラブ、砂川ロータリークラブより6月例会プログラムを受領しました。

を会報委員会まで提出してください。よろしくお願いいたします。

委員会報告

会員増強委員会 関野委員長
職業分類について見直しをかけます。皆様のテーブルの上に新しい職業分類表が置いてありますので、ご自分の職業分類について変更したい方は修正願います。

愛好会

麻雀愛好会 齋藤愛好会会長
今年度最後の大会を6月5日午後6時30分より、“いふ”にて開催いたします。愛好会会員以外でも出席される方がおりましたら、ご連絡をお願いします。

広報・クラブ会報委員会 堀委員長
先日、各班に分かれて討議した情報集会の内容を6月5日の例会にて発表される方は、原稿

 ニコニコBOX

- ・情報集会の余剰金です。 第1班
- ・情報集会の余剰金です。 第4班

前 回	597,200円
今 回	3,690円
累 計	600,890円

 プログラム

「IM最終打ち合わせ」

《総務委員会》

森委員長/燕副委員
鵜城・中川・対馬・二ノ宮委員



《登録委員会》

鈴木委員長/堀副委員長
平井・佐藤・齋藤・高橋委員



.....

《会場委員会》

大嶋委員長／遠藤副委員長

古野・久木・松田・宮尾・関野・西谷・角・佐々木・工藤委員



《接待委員会》

行徳委員長／阿部・福士副委員長

明澤・原田・原谷・松村・串橋・中出・西谷・辻本・渡邊委員



(前回の続き)

6 海賊対策

次に海上保安庁における海賊対策についてお話しします。

全世界で例年400件以上の海賊事案が発生しています。日本と関係してくるのは、日本に原油等を運ぶタンカーの航路にあたる、ソマリア周辺海域(世界全体の約5割が発生)と東南アジア海域です。

東南アジア海域については、主としてマラッカ・シンガポール海峡沿岸国に巡視船や航空機を派遣し、訓練・情報交換しています。また、日本船舶や日本人が公海上で襲撃された場合には、必要に応じ、巡視船・航空機又は職員を派遣し、犯罪捜査等の業務を実施しています。

ソマリア周辺海域については、日本からの距離や他国では軍艦が対応していること等を総合的に勘案し、巡視船ではなく海上自衛隊の護衛艦が派遣されています。海賊の逮捕・取調べ等といった、海賊に対する司法警察業務に的確に対処するために、派遣される護衛艦に毎回8名の海上保安官を同乗させています。(自衛官には犯人の逮捕及び捜査を行う権限がありません。)

また、ソマリア周辺諸国の海上法執行能力向上のための人材育成支援として、イエメン沿岸警備隊幹部職員を日本に招聘し、海賊対策をはじめとする海上犯罪の取り締まりに必要な知識・技術の移転を行っています。

7 北海道(第一管区)の特徴等

最後に、北海道(一管区)での特徴等についてお話しします。

一管区は、太平洋・日本海・オホーツク海という3つの海に囲まれており、特徴としては、

- ①ロシアと国境を接する国境管区であること
- ②周辺海域が好漁場であること
- ③厳しい自然環境(道東の濃霧、日本海側の北西の季節風、オホーツクの流水等)

と言えます。

ロシアとの関係で言えば、北方四島周辺海域でロシア国境警備隊による日本漁船への拿捕・銃撃・照明弾の発射という事案が発生していま

す。

事件としては、銃器・薬物の密輸入、かに・なまこの密漁等の事件を摘発しています。

また、サハリンでの大規模な石油及び天然ガスの開発(サハリンプロジェクト)により、北海道北側、稚内・留萌・紋別等の沖をタンカーが頻繁に通航しており、これらのタンカーが事故を起こした場合には、沿岸への流出油の漂着が予想されており、すでに対応が検討されています。

オホーツク海の流水については、毎年12月から4月ころまで流水情報センターを第一管区本部に設置し、航空機で観測した情報をインターネット・FAX等で提供しています。

以上、簡単ですが海上保安庁の業務を紹介させていただきました。

現在、尖閣警備のために多数の巡視船が交代で全国から派遣されていますが、どんなに厳しい状況であっても、全国各地・各海域での海洋秩序の維持、海難の救助、海上防災・海洋環境の保全、海上交通の安全確保等の業務を確実に行わなければなりません。

留萌におきましても、水産資源(うに・あわび・なまこ等)の密漁への対応、沿岸・港内での船舶の乗揚げへの対応、沖合を航行するタンカーからの油流出や地震・津波等の災害への備えについて十分に検討し、万全を期して準備しておく必要があります。しっかり対応することにより、留萌の皆様からの信頼も生まれるものと思っています。

外国と接する海を舞台として活動している海上保安官であれば、少なからず、国家・国民のためにという思いを根幹にもって仕事をしています。留萌の一員として留萌のためにお役に立ちたいと思っておりますので、よろしくご支援・ご協力願います。